

令和6年度

地方独立行政法人福岡市立病院機構に  
係る業務実績に関する評価結果報告

福岡市



報告第53号

地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る業務実績に関する評価結果報告

地方独立行政法人法第28条第5項の規定により、地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る令和6年度の業務の実績に関する評価結果について報告する。

令和7年9月3日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

## 目 次

は じ め に	1
第 1 項 全体評価	2
第 2 項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成する ためとるべき措置	4
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	8
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	9
(2) 小項目評価	
1 福岡市立病院機構の概要	13
2 全体的な状況	15
3 項目別の状況	22
第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成する ためとるべき措置	
1 医療サービス	22
2 患者サービス	46
3 医療の質の向上	60
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	76
2 事務部門の機能強化	80
3 働きがいのある職場環境づくり	84
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	90
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 持続可能な経営基盤の確立	94
2 収支改善	100
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	116
2 福岡市民病院における経営改善の推進	120
第 5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	124
第 6 短期借入金の限度額	127
第 7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	127
第 8 剰余金の使途	127
第 9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営 に関する事項	128
参 考 資 料	129

## は じ め に

福岡市は、地方独立行政法人法第28条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の令和6年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会において、評価に関する意見を聴取し、平成30年6月22日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委 員 長	北 園 孝 成	九州中央病院 院長
副委員長	福 田 治 久	九州大学大学院医学研究院 准教授
委 員	案 浦 美 雪	福岡市医師会 副会長
	濱 田 正 美	福岡県看護協会 会長
	行 正 晴 實	公認会計士

## 第1項 全体評価

### 評価結果及び判断理由

#### 〈評価結果〉

第4期中期目標期間の最終年度である令和6年度の業務実績に関する各大項目の評価については、小項目評価の結果を踏まえ、第1及び第4の大項目については「評価A」、第2については「評価C」、第3については「評価B」とする。

この大項目評価の結果等を踏まえ、令和6年度の業務の実績は、「改善すべき事項があるが、中期計画の実現に向けて概ね計画どおり進んでいる。」と評価する。

#### 〈判断理由〉

福岡市立病院機構は、理事長を中心に、両病院と運営本部が一体となり、経営管理の徹底を図っている。

福岡市立こども病院においては、引き続き、中核的な小児総合医療施設としてこれまで培ってきた小児医療（高度・地域・救急）及び周産期医療の更なる充実に取り組んだ。

福岡市民病院においては、新型コロナウイルス感染症等への対応を継続しながら、高度専門医療について安定的な提供に取り組むとともに、救急医療については「断らない救急」の徹底に取り組んだ。

業務運営の改善及び効率化については、働きがいのある職場環境づくりの取組を進めたが、法令遵守の観点において改善すべき事項が見られた。

経営収支面では、令和6年度診療報酬改定による施設基準の厳格化や物価高騰の影響などにより両病院がともに当期純損失を計上することとなったが、積極的な病床管理による患者受入れの強化や診療材料等に係る価格交渉の徹底など、経営改善に向けた取組を着実に進めた。

### 全体評価にあたって考慮した内容

#### 〈特筆すべき取組〉

##### 《福岡市立こども病院》

- ・ 緊急母体搬送症例の積極的な受入れや、食物アレルギー、喘息及びアトピー性皮膚炎の成人移行支援パスの作成など診療機能の強化・充実に取り組んだ。また、こども支援室を設置して、患者の包括的な成長・発達支援及び入院生活支援等の充実を図った。
- ・ 臨床研究や治験業務に積極的に取り組むなど、小児・周産期医療の発展に寄与する取組を行った。

##### 《福岡市民病院》

- ・ 引き続き感染症への対応を継続しながら、リウマチ・膠原病内科を設置し、遺伝性血管性浮腫（HAE）のオンライン診療を開始したほか、循環器内科において、AI を活用した非侵襲的解析手法の導入など、患者への負担軽減となる新しい技術を積極的に導入するなど医療の充実を図った。
- ・ 救急医療については、「断らない救急」の徹底に取り組み、また、脳卒中、循環器疾患については、医師、救急救命士が同乗する形での迎え搬送の実施を始めた。

##### 《両病院》

- ・ 両病院ともに、引き続き地域の医療機関を中心に積極的な病病・病診連携を推進するとともに、災害発生に備えた平時における取組を進めた。
- ・ 経営アドバイザーを活用した法人経営改革会議を設置し、経営改善に向け積極的に取り組んだ。

#### 評価にあたっての意見、指摘等

- ・ 両病院ともに、専門的・高度な医療の確保に努めており、病床利用率も改善している。
- ・ 両病院ともに、経営が厳しい状況の中にあっても、人材育成に力を入れて取り組んでいる。
- ・ 医師を十分に確保できないことにより経営に影響が生じている。
- ・ 福岡市歯科医師会と連携しての、入院患者の口腔アセスメントの実施はすばらしい取組である。これによる医療の質の向上に期待したい。
- ・ 福岡市立こども病院の医業収支比率は目標値を下回ったが、病院の頑張りとは無関係なPICU(小児集中治療室)の入院管理料の取り下げといった外部的要因による部分もあると思われるので、加算が取れていれば医業収支比率がどの程度上がるのかなどを踏まえて、評価をお願いしたい。
- ・ 今回のような採点のアプローチは、診療報酬改定直後である今期限りの取扱いとしてはどうか。
- ・ 全国的にどこの病院も増収減益と言われている中、福岡市民病院においては医業損益を改善させるなど、熱心に取り組まれている。
- ・ 臨床研究等では科学研究費助成事業を取得していることはすばらしい。
- ・ 法令遵守に関する点については、再発防止策の徹底が必要である。

## 第2項 項目別評価

### (1) 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### ① 評価結果 A (計画以上に進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 120 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て				
両病院ともにコロナ等の感染症への対応は継続しながら、高度専門医療や高度救急医療等に積極的に取り組み、診療機能の強化・充実を図るとともに、患者サービスや医療の質の向上に取り組むなど、計画以上に進んでいると評価できる。				

#### ② 小項目評価の集計結果

項 目			評価	ウエイト	ウエイト 換算
1 医療サービス	(1)良質な医療の実践	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(2)地域医療への貢献と医療連携 の推進	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(3)災害・感染症等への適切な 対応	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
2 患者サービス	(1)患者サービスの向上	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
	(2)情報発信	こども病院	3	1	3
		市民病院	3	1	3
3 医療の質の 向上	(1)病院スタッフの計画的な確保と 教育・研修	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
	(2)信頼される医療の実践	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
合計				26	a 94
標準点(※全ての小項目評価が3)				b 78	



③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1-(1) 良質な医療の実践 ア 福岡市立こども病院」

○ 1人1日当たり入院単価や1日当たり入院患者数等では目標を下回ったが、手術件数や救急搬送件数等では目標を上回っており、新規入院患者数では開院以来最多の数を受け入れたことに加え、こども支援室を新たに設置するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(1) 良質な医療の実践 イ 福岡市民病院」

○ 目標値はほぼ全ての項目で達成しており、特に新規入院患者数及び手術件数については、組織全体の取組により、目標値を大きく上回った。また、新たにリウマチ・膠原病内科を設置したことや、迎え搬送の実施により循環器疾患について医療の質を高める取組を開始するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ア 福岡市立こども病院」

○ 目標値は多くの項目で達成しており、特に新規紹介患者数や逆紹介率については目標を大きく上回って実施するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 イ 福岡市民病院」

○ 新規紹介患者数やオープンカンファレンスの開催件数、参加者数では目標を下回っているが、紹介率では目標を達成しており、オープンカンファレンスについては内容の集約化等を行うことで概ね同水準の内容が維持されている。また、迎え搬送を新たに開始し、福岡市歯科医師会との連携事業を実施するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応 ア 福岡市立こども病院」

○ 各種研修への派遣を通じて職員の対応能力向上に取り組むとともに、高潮災害に備え、BCP(事業継続計画)の更新に加えて非常用発電機用の燃料ポンプ室の防水工事を実施するなど、非常時の備えに積極的に取り組んだことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応 イ 福岡市民病院」

○ 救急・災害医療の研修会への講師派遣や、消防訓練についてより実践的な内容で実施したことに加え、関係機関との合同訓練を行い感染症対応力の強化を図るなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(2) 信頼される医療の実践 ア 福岡市立こども病院」

○ 薬剤管理指導件数は目標を下回っているが、薬剤師の一般病棟への配置及び薬物療法への関与を引き続き実施し、医療安全の確保を図った。また、栄養食事指導・相談についても積極的に取り組み、開院以来最多の件数を実施するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(2) 信頼される医療の実践 イ 福岡市民病院」

○ 薬剤管理指導件数は目標をわずかに下回ったが、栄養食事指導・相談件数、がん患者指導件数は前年比で大きく増加し目標値を達成している。また、クリニカルパス専任看護師の配置を行い、患者中心の医療の実践を図るなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

- 福岡市民病院における福岡市歯科医師会と連携しての入院患者の口腔アセスメントの実施はすばらしい取組である。
- 両病院ともに、経営が厳しい状況の中にあっても、人材育成に力を入れて取り組んでいる。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### ① 評価結果 C（やや遅れている）

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 91 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て				
地方独立行政法人の特長を生かした自律的な病院経営が行われており、働きがいのある職場環境づくりにも積極的に取り組んだ一方で、法令遵守の観点において改善すべき事項が見られたことから、やや遅れていると評価する。				

### ② 小項目評価の集計結果

項 目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	3	1	3
2 事務部門の機能強化	3	1	3
3 働きがいのある職場環境づくり	3	1	3
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	2	1	2
合計		4	a 11
標準点(※全ての小項目評価が3)		b 12	

### ③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

特になし
------

### ④ 評価にあたっての意見、指摘等

・ 法令遵守に関する点については、再発防止策の徹底が必要である。
----------------------------------

### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

#### ① 評価結果 B（おおむね計画どおり進んでいる）

S	A	B	C	D
特筆すべき 進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んで いる(120%以上)	おおむね計画どお り進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善 すべき事項がある (特に認める)
【 102 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て				
両病院とも増収対策や費用削減に取り組み、経常収支について両病院ともに目標を達成しており、おおむね計画どおり進んでいると評価できる。				

#### ② 小項目評価の集計結果

項 目			評価	ウエイト	ウエイト 換算
1 持続可能な 経営基盤の 確立	(1)経営基盤の安定化と運営費 負担金の適正化	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
	(2)投資財源の確保		2	1	2
2 収支改善	(1)収益確保	こども病院	3	2	6
		市民病院	4	2	8
	(2)費用削減	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
合計				13	a 40
標準点(※全ての小項目評価が3)				b 39	

#### ③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「2-(1) 収益確保 イ 福岡市民病院」

○ 指標についてはほとんどの項目で目標値を達成しており、効率的な病棟の運用等により新規入院患者数及び手術件数は目標値・前年数値ともに上回って実施したこと、また、外来収益も前年比で増加させるなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

#### ④ 評価にあたっての意見、指摘等

- ・ 福岡市立こども病院の医業収支比率は目標値を下回ったが、病院の頑張りとは無関係なPICU(小児集中治療室)の入院管理料の取り下げといった外部的要因による部分もあると思われるので、その点を踏まえた評価をお願いしたい。
- ・ 今回のような採点のアプローチは、診療報酬改定直後である今期限りの取扱いとしてはどうか。
- ・ 全国的にどこの病院も増収減益と言われている中、福岡市民病院においては医業損益を改善させるなど、熱心に取り組まれている。

#### 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

##### ① 評価結果 A（計画以上に進んでいる）

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある（特に認める）	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる(100%以上 120%未満)	やや遅れている(100%未満)	重大な改善すべき事項がある（特に認める）
【 133 %】（a 評価点（※ウエイト換算後の合計）／b 標準点 × 100）※小数点以下切捨て				
福岡市立こども病院においては、医療機能の充実を図るとともに、臨床研究や治験業務などで順調な成果を挙げていること、また、福岡市民病院においては、高度医療の充実を図るとともに、組織一丸となって経営改善に向けた取組を進め、医業損益を前年比4億円以上改善させる成果を上げるなど、計画以上に進んでいると評価できる。				

##### ② 小項目評価の集計結果

項 目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	4	2	8
2 福岡市民病院における経営改善の推進	4	2	8
合 計		4	a 16
標準点（※全ての小項目評価が3）		b 12	

##### ③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1 福岡市立こども病院における医療機能の充実」
○ 川崎病や先天性心疾患に係る手術症例を始めとする高度小児専門医療に加え、小児救急医療、周産期医療等に着実に取り組んでいる。いずれも小児総合医療施設としての医療機能の充実を資する取組であり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
「2 福岡市民病院における経営改善の推進」
○ 組織全体で病床管理や地域医療機関との連携強化に取り組み、診療材料に関し法人内で共通品を選定して費用削減を図るなど、組織一丸となって取組を進め、医業損益を前年比4億円以上改善させるなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

##### ④ 評価にあたっての意見、指摘等

- 臨床研究等では科学研究費助成事業を取得していることはすばらしい。

- (2) 小項目評価  
別紙のとおり